

そんなあなたをサポートします！



運用しているメールサーバが適切に管理できているか心配だ



コンピュータに詳しくないのに研究室のWebサイト管理を任された



Webサイトに映像コンテンツをのせたい



使っているサーバが古くなってきたそろそろ買い替え時か？



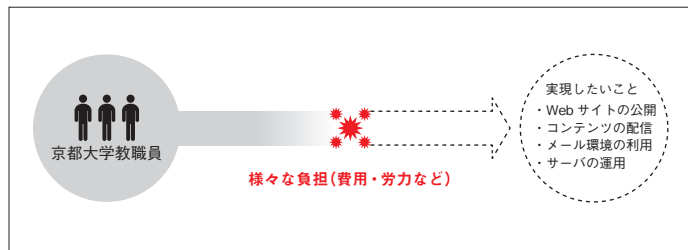
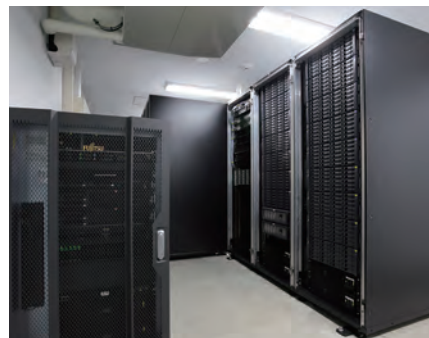
データ処理用にサーバが必要だが部屋には置きたくない

もっと使える
情報環境機構

ホスティング編

情報環境機構は学内のICT活用をサポートします

Webの公開や電子メールでの連絡、各種業務の電子化促進など、大学の現場でもICTは年々その重要度が増しています。しかし、ICTを活用し何かを実現するには、それら进行处理するための専用のサーバが必要です。これらのサーバを運用するには、サーバ本体の購入だけでなく空調等の周辺設備、電力や設置場所の確保、そしてサーバを管理するマンパワーなど費用・労力の面で様々な負担が発生します。情報環境機構では、これらに携わる教職員の方々の負担を軽減するためのサーバ環境を用意し、様々なサービスを提供することでサポートしています。

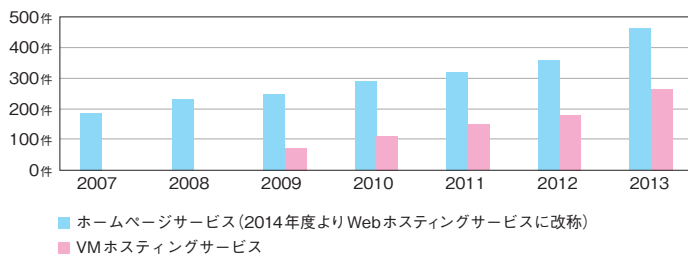


本ブックレットで紹介するホスティングサービスとメールホスティングサービスは、すでに多くの部局や本部組織で利用されています。もし、あなたが今、ICT活用について何かお困りであれば、これらの提供サービスで解決をお手伝いできるかもしれません。まずはお気軽にご相談ください。

利用実績 (2014年3月1日現在)

利用件数	のべ 751 件 (ホスティング730件+メールホスティング21件)	利用先	61 件 (部局&本部組織)
------	--	-----	--------------------------

利用件数 (2007~2013年)



申請の対象者

教員	職員	学生	外部研究者
----	----	----	-------

利用負担金 (2014年4月1日現在)

サービス名		利用負担金
ホスティングサービス	Webホスティングサービス	6,000円/年~
	ストリーミングサービス	6,000円/年~
	VMホスティングサービス	72,000円/年~
データセンターサービス	ハウジングサービス	5,000円/月~
全学メール	メールホスティングサービス	不要

利用負担金の支払いは公費をお願いします。
別途負担金が必要になる場合があります。(KUINS-II: 1,500円/月)

サービスをご利用いただくための 予備知識

本ブックレットで紹介しているサービスのご利用を検討される際は、下記の点にご留意ください。

情報環境機構のホスティングサービス

サーバホスティングとは、一カ所にまとめて管理されたサーバ機器の、全体または機能の一部を借りて、自前でサーバを持たずにWebやメールなどを運用するものです。情報環境機構の各ホスティングサービスは、利用者の使用する独自ドメインに対してサーバを提供します。従って、サービスを申請するには、予め使用するドメインを用意いただき、且つそれは部局などのドメイン管理者の承諾を受けていただいている必要があります。

ドメインはDNS登録が必要です

DNSは、サーバのIPアドレスとドメインを対応させる仕組みです。例えば、インターネットでURLを用いてWebサイトへアクセスを可能にするなど、今日では必要不可欠なものとなっています。サーバで使用するドメインをインターネット上で有効にするには、所属元のDNSサーバ管理者に依頼して、設定が登録される必要があります。DNSサーバ管理者が不明な場合はKUINSまでお問い合わせください。

KUINSのネットワークを使います

京都大学の学内ネットワーク環境は、KUINS(京都大学学術情報ネットワークシステム)により整備されています。KUINSのネットワークは、KUINS-III(学内ローカル)とKUINS-II(インターネットと接続)があり、今回紹介する各サービスも、用途にあわせてどちらかを使っています。なお、KUINS-IIを用いるサービスの利用を開始される時には、KUINS-DB(KUINS接続機器登録データベース)でご利用されるドメインのサーバ(または仮想ホスト)の管理責任者になっていただき、サーバやDNSに関する情報を登録いただく必要があります。

KUINS(京都大学情報環境機構ネットワークシステム)
<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/>

コンピュータに詳しくないのに
研究室のWebサイト管理を任されたのですが…

コンテンツを用意するだけで、 Webサイトを持つことができます。

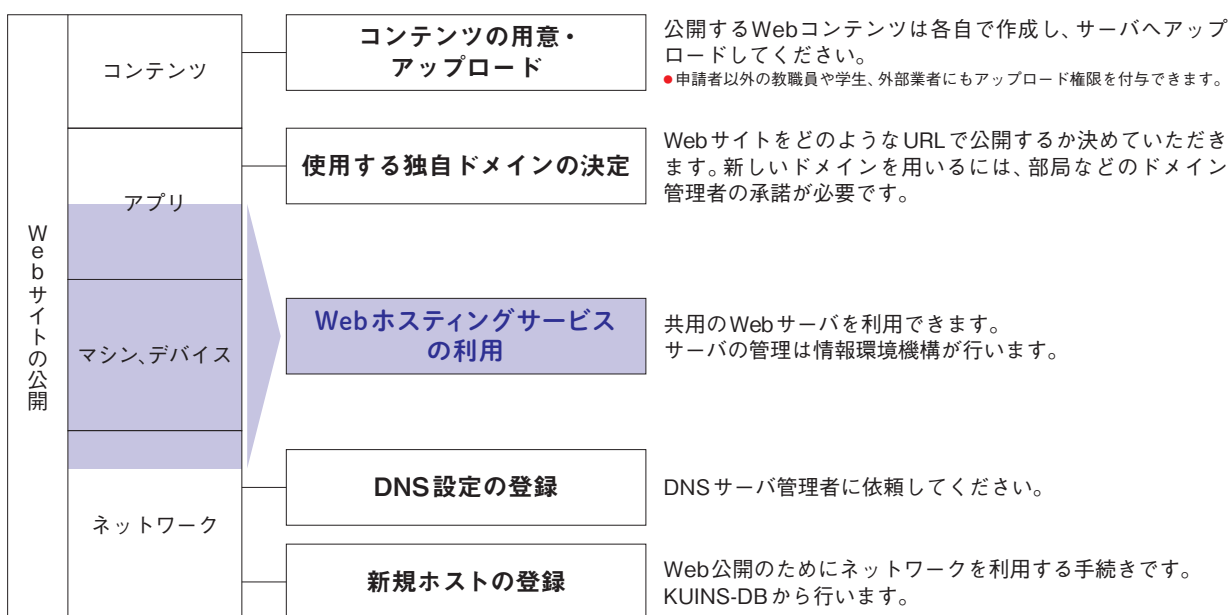
情報環境機構では、サーバ管理などに詳しくない方でも、コンテンツをアップロードするだけでWebサイトを公開することができるサービスを提供しています。



パターン
1

「サーバの管理はできないがWebサイトは必要」

そんなあなたがWebサイトを公開するには**Webホスティングサービス**



利用者の声



サービスを利用されている教職員の方に、感想を伺ってみました。

メールホスティングサービスを利用されている
薬学研究科 江藤哲治さん



メールサーバは以前、外部委託で運用しており、多額の費用や計画停電時には使用不能時間が発生していました。メールホスティングサービス自体はなんと無料で、サーバの知識がなくても簡単に研究科ドメインのメールアドレスやメーリングリストの設定が出来ます。しかも、サーバ自体の運用管理は情報環境機構にお任せ出来ます！あとはもう少しかゆいところに手が届けば最強のサービスだと思います。

VMホスティングサービスを利用されている
学術情報メディアセンター 秋田祐哉さん



研究室で独自に運用していたメールサーバ・ログインサーバをVMホスティングサービスに切り替えました。研究室の複雑なネットワーク構成にも対応してもらえるか心配でしたが、親切に相談に応じていただき、スムーズに移行することができました。今まで私の隣にいたサーバがいなくなって、熱や騒音がなくなり、また停電や動作監視といった心配事もなくなりました。研究室のサーバ管理者としてとてもハッピーです。

VMホスティングサービスを利用されている
総合博物館 五島敏芳さん



大学の研究資源アーカイブ資料・デジタルコンテンツの管理システムである「京都大学デジタルアーカイブシステムPeek」で、VMホスティングサービスを使用しています。たいていデジタルアーカイブシステムの管理はサーバ自体の実機を含む管理に手間取るところを、その心配なくシステムの運用に集中できるのが一番の利点です。大きいデータ容量でもバックアップに対応してもらえたら言うことありません。

Webホスティングサービスを利用されている
附属図書館 大綱浩一さん



図書館では、WEBホスティングサービスを利用して「図書館機構サイト」と「図書系職員情報共有サイト」を運営。LAMP環境が提供されるため、専門知識を要さず簡単に見栄えの良いWebサイトを構築できる。また、安価なため、サーバの維持管理やセキュリティ対策を低コストで実現。さらに、Shibboleth認証を利用でき、パスワードを発行することなく認証の設置が可能で助かっています。

Webサイトで、動画や音声などの マルチメディアコンテンツを見せたいのですが…

コンテンツをアップロードすることで、 インターネット上に配信できます。

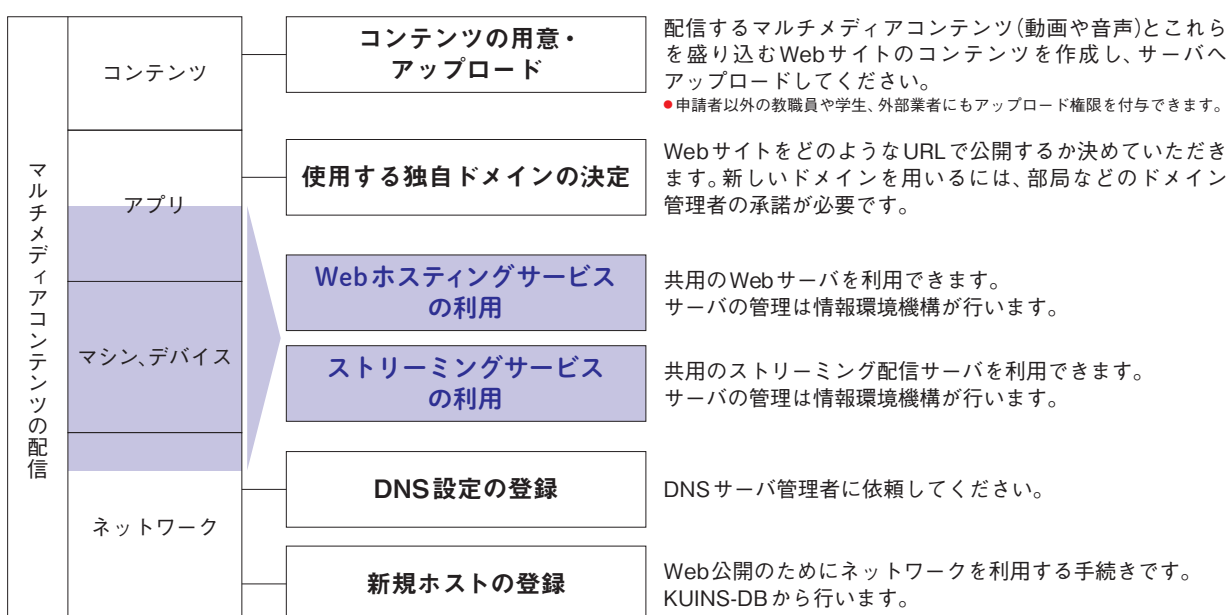
インターネット上でストリーミング配信するには専用のサーバとソフトが必要になります。情報環境機構では、マルチメディアコンテンツをアップロードすることで、Webページなどから動画配信できるサービスを提供しています。



パターン
1

「機構のサーバでマルチメディアコンテンツもWebサイトも公開したい」

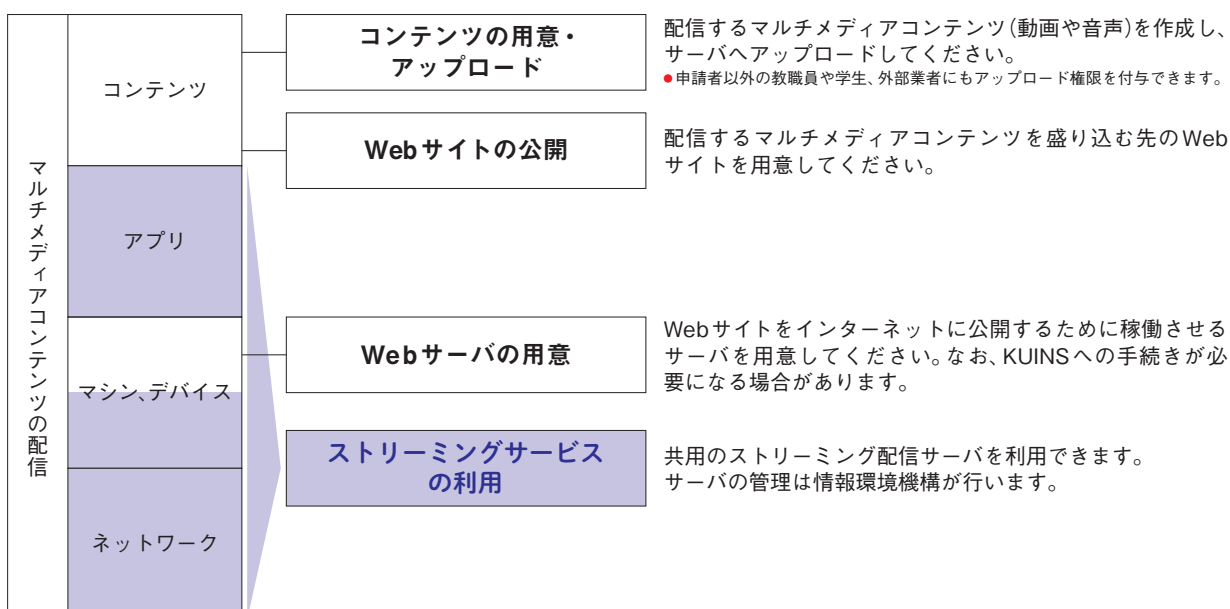
そんなあなたがマルチメディアコンテンツを配信するには**ストリーミングサービス+Webホスティングサービス**



パターン
2

「自分で用意したWebサイトにマルチメディアコンテンツを載せたい」

そんなあなたがマルチメディアコンテンツを配信するには**ストリーミングサービス**



運用しているメールサーバが
適切に管理できているか、心配なのですが…

メールサーバを管理しなくても、 メール環境を利用できます。

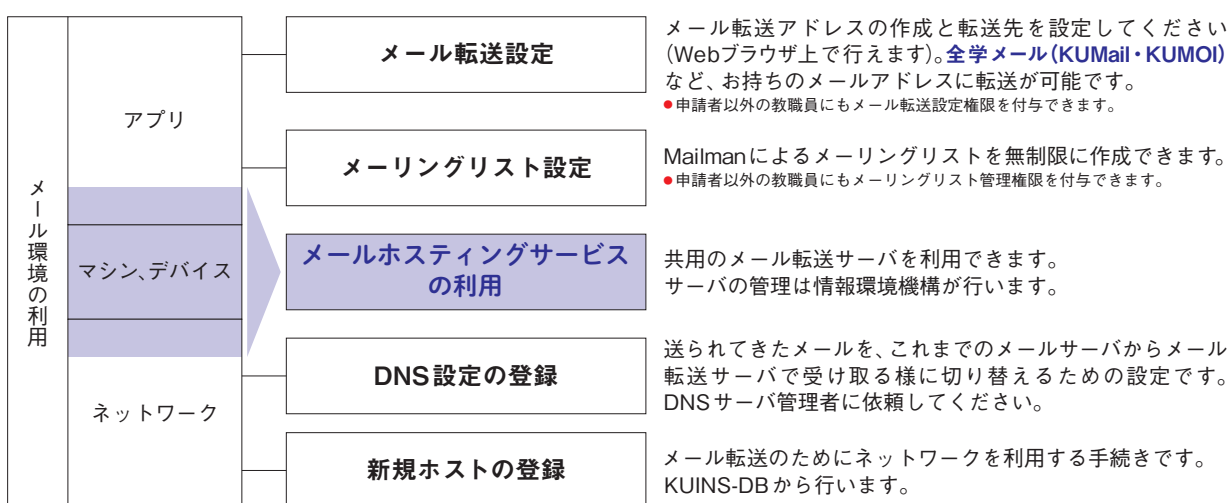
たくさんの労力やコストを必要とするサーバ管理でも、特に負担が大きいのがメールサーバです。情報環境機構では、本学の全構成員にご利用いただいている全学メール(KUMailまたはKUMOI)だけでなく、これまで使ってきた部局ドメインのメールアドレスを使用できる手段も提供しており、これを使えば独自にサーバを運用する必要がありません。



パターン
1

「今まで使ってきた部局のメールアドレスを使いたい」

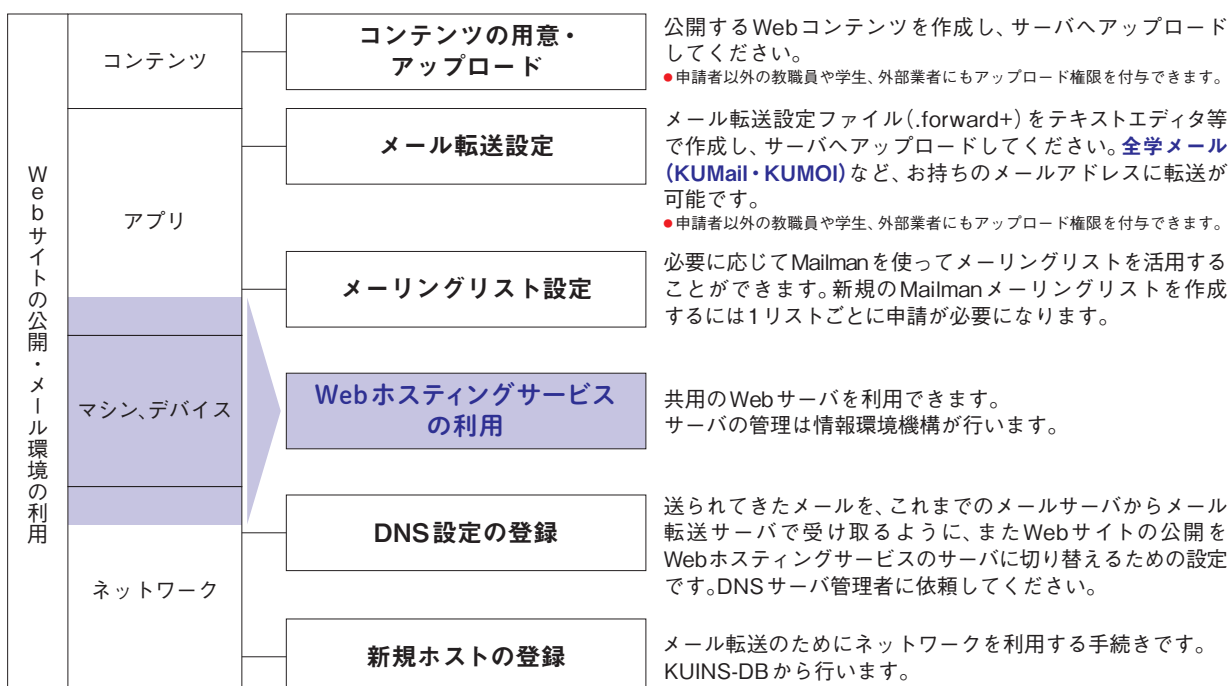
そんなあなたがメール環境を利用するには**メールホスティングサービス**



パターン
2

「公開しているWebサイトのドメイン名と同じメールアドレスを使いたい」

そんなあなたがメール環境を利用するには**Webホスティングサービス**



データ処理用にサーバは必要です。
でも、部屋には置きたくないのですが…

管理者権限付きのサーバを借用したり購入
サーバをデータセンターに預けることが
できます。

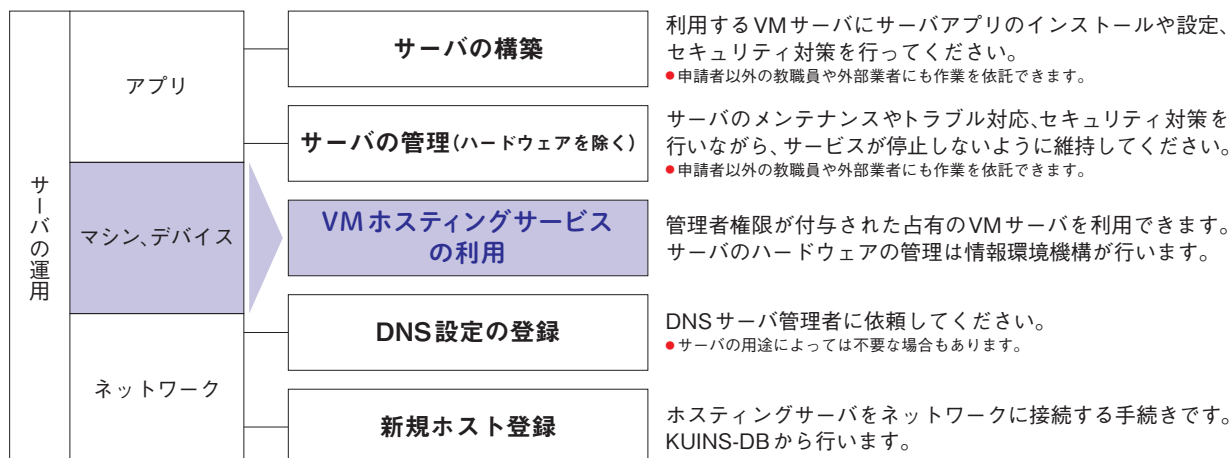
情報環境機構では、サーバを独自に運用し作り込んだシステムでサービスを展開
されたい構成員の方に向けて、管理者権限付きのサーバを利用できたり、部局等
で保有されるサーバを設置する場所と設備を貸し出すサービスを提供しています。



パターン
1

「サーバ本体は購入しないが、 通常のLinuxやWindowsのサーバで動作するシステムを運用したい」

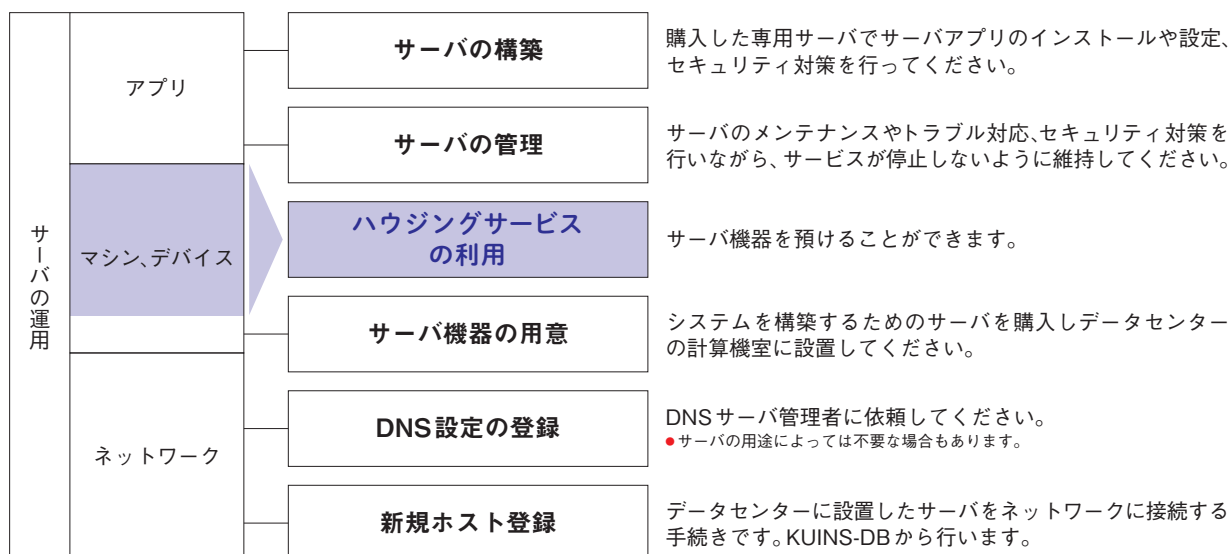
そんなあなたがサーバを運用するには**VMホスティングサービス**



パターン
2

「専用サーバを購入し運用予定だが、設置する場所が無いので預けたい」

そんなあなたがサーバを運用するには**ハウジングサービス**



使っているサーバが古くなってきました。
買い替えの他に今のサーバ環境を維持する方法は？

定期的に最新の機種へ更新されるサーバ
を利用できたり、サーバ管理自体も不要に
できます。

情報環境機構のサービスで提供するサーバは数年に一度、定期的に機種を更新
しています。また、現在お使いのサーバの用途によっては、サーバ管理も不要に
なるサービスもあります。



パターン
1

「サーバを自由にカスタマイズして使いたい」

そんなあなたがサーバを運用するには**VMホスティングサービス**



パターン
2

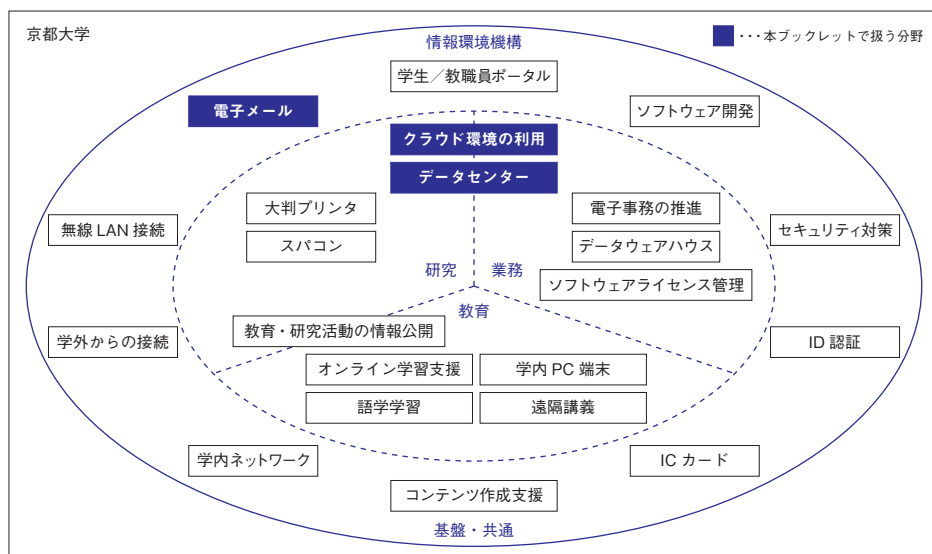
「サーバはWebサイトの公開用に使いたい」

そんなあなたがWebサイトを公開するには**Webホスティングサービス**



情報環境機構が提供するICTサービスやシステム

情報環境機構では、「本学の情報基盤の充実およびこれに基づく情報環境の整備等を推進する」ための全学組織として、学術情報ネットワーク(KUINS)、統合認証基盤、全学メール(KUMOI、KUMail)など、様々なICTサービスを提供しています。



ICT活用でお困りの際は、 まず情報環境機構へご相談ください

情報環境機構では、提供している各サービスに関する総合問い合わせ窓口として情報環境支援センターを設置しています。

機構が提供している各種ICTサービスやその他のICT活用に関するご相談やご質問、機構に対するご意見・ご要望等がありましたら、情報環境支援センターまでお気軽にご連絡ください。

総合問い合わせ窓口：情報環境支援センター

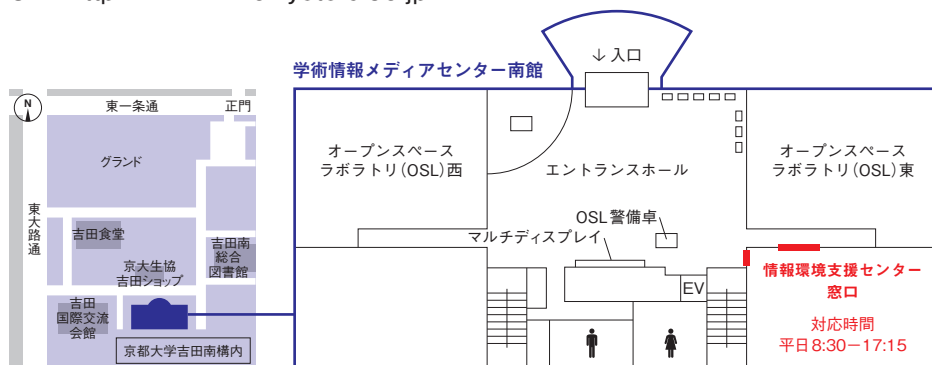
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町(吉田南構内)

京都大学学術情報メディアセンター南館1階

TEL 075-753-7840 FAX 075-753-9001

E-MAIL support@iimc.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/>



情報環境機構ブックレット

もっと使える情報環境機構ーホスティング編ー

2014年7月1日発行

制作：赤尾健介(京都大学情報部情報基盤課)、元木環(京都大学情報環境機構IT企画室)、永田奈緒美(京都大学学術情報メディアセンターコンテンツ作成室)

協力：赤坂浩一、武田鋼、小林寿、野口美佳(京都大学情報部情報基盤課)、西垣昌代(京都大学情報部情報推進課)

発行：京都大学情報環境機構

わたしたちがお手伝いします！